


MOODLE 管理者-基礎

演習テキスト

演習 0: 前準備

この演習に入る前に、インターネットへの接続をご確認ください。

内容	リモートデスクトップ(RDP)で演習環境へ接続する。
標準時間	5分
成果物	

リモートデスクトップクライアント起動(Windows では[スタート][アクセサリ][リモートデスクトップ]
次の情報で接続する。

項目	値
コンピュータ	adlaboXX.e-learning.co.jp
ユーザ名	cafeadmin
パスワード	Cafe9876!

メモ:Windows2012Server(RDP)の操作

スタートメニュー:Windows キー+C

フォーカスウィンドウコピー Ctrl+Alt+テンキーのマイナス

終了など:Ctrl+Alt+End

演習 1:Moodle の導入

内容

Moodle をインストールする。

標準時間

20 分

情報

演習デスクトップの紹介

成果物

Moodle ソース zip の場所とファイル名



1.現在の状態

PHP, MySQL 導入済み

MySQL 管理者情報 root, password

IIS 導入済み DocumentRoot を C:\mywww\webroot\ としている。

(デフォルトの DocumentRoot は [win]C:\inetpub\wwwroot [Linux]/var/www/html/)

(実はこのサーバにはすでに1つ Moodle を別サイトとしてインストールしている、IIS 管理ツールから 2 つの Web サーバの起動を設定可能である。現在は同一 IP, 同一ポート, 同一 FQDN であるので両立はできない)

次の URL とディレクトリへアクセスし、ファイルを確認する。

http://localhost/welcome.html

C:\mywww\webroot\ welcome.html

2.事前準備

この作業は事前に終わらせてあります、このテキスト文末の[付録1]を参照してください。

データディレクトリーを作成する。

[win] C:¥mywww¥mymoodledata とする。[linux]/var/www/mymoodledata/

このディレクトリーに web サーバアカウントへの変更権を与える。

web サーバのアカウントは次の通り、[win]IUSR, [linux]apache

3.moodle ファイルのコピー

zip ファイルを解凍する、解凍終了後にフォルダの中に入っていく。(この作業は事前に終わらせてあります)

moodle フォルダの名前を mymoodle に変更し、DocumentRoot(C:¥mywww¥webroot¥)配下にコピーする。[win]移動ではなくコピーしたいので[CTRL]+ドラッグ&ドロップすること。

DocumentRoot デイフォルトは[win] C:¥inetpub¥wwwroot, [linux]/var/www/html/



数分かかります。。。。

4.Moodle インストール開始

http://localhost/mymoodle にブラウザよりアクセスするとインストールプロセスが始まる。指定値以外はデフォルトにする。

Language(言語設定) 日本語

[インストレーション][パス]

データディレクトリー [win]C:¥mywww¥mymoodledata [linux]/var/www/mymoodledata/

[インストレーション][データベース]

Improved MySQL (ネイティブ/mysqli)

あなたは、ほとんどのMoodleデータが保存されるデータベースを設定する必要があります。すでに必要なパーミッション、ユーザ名およびパスワードがある場合、データベースが作成されます。テーブル

データベースホスト:

データベース名:

データベースユーザ:

データベースパスワード:

テーブル接頭辞:

データベース名 mymoodle

データベースユーザ root

データベースパスワード password

[インストール][config.php]で、次のエラーが出力されることがある。

設定が完了しました。

Moodleは、Moodleインストールルートへの設定内容の保存を試みました。インストールスクリプトは、自動的にあなたの選択した設定を反映した config.phpファイルを作成することができませんでした。恐らく、Moodleディレクトリに書き込み権が無いためだと思います。下記のコードを config.phpという名称のファイルとして Moodleのルートディレクトリにコピーすることができます。

/mymoodle/ ディレクトリに webserver ユーザの書き込みアクセス権を与えれば、このエラーは回避できる。セキュリティ上の問題でそれを避けたい時は、<?php から始まる出力された内容を /mymoodle/config.php として作成する、文字コードは UTF-8 とする。

config.php を作成後に Moodle インストールに戻り [次へ]で進める

[win]サーバチェックで次の警告が出る時がある。

*php_extension intl 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。
intl 拡張モジュールの使用はロケールに関するソート等の国際化サポートを改善します。*

その時には次の内容を php.ini に加えて webserver を再起動する。

[intl]

extension=php_intl.dll

intl.default_locale = en_utf8

intl.error_level = E_WARNING

インストール

localhost/mymoodle/admin/index.php?lang=ja&agreelicense=1

Moodle 2.4+ (Build: 20121220)

このバージョンのMoodleに関する詳細情報はオンラインリリースノートをご覧ください。

サーバチェック

名称	情報	レポート	状態
unicode		<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
database	mysql	<input type="checkbox"/> バージョン 5.1.33 以上が必須です。あなたは現在 5.1.66 を使用しています。	OK
php		<input type="checkbox"/> バージョン 5.3.2 以上が必須です。あなたは現在 5.3.19 を使用しています。	OK
pcrunicode		<input type="checkbox"/> 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	iconv	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	mbstring	<input type="checkbox"/> 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	curl	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	openssl	<input type="checkbox"/> 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	tokenizer	<input type="checkbox"/> 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	xmlrpc	<input type="checkbox"/> 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	soap	<input type="checkbox"/> 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	ctype	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	zip	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	gd	<input type="checkbox"/> 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	simplexml	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	spl	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	pcre	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	dom	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	xml	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	intl	<input type="checkbox"/> 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	json	<input type="checkbox"/> 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	hash	<input type="checkbox"/> 推奨設定が検出されました。	OK
php_setting	memory_limit	<input type="checkbox"/> 推奨設定が検出されました。	OK
php_setting	safe_mode	<input type="checkbox"/> 推奨設定が検出されました。	OK
php_setting	file_uploads	<input type="checkbox"/> 推奨設定が検出されました。	OK

あなたのサーバ環境は、最小限の必要条件すべてに合致します。

[続ける](#)

サーバチェックを確認して[続ける]。



数分かかります。

インストール - Moodle

localhost/mymoodle/admin/ir

成功

tinymce_moodlenolink

成功

tinymce_spellchecker

成功

[続ける](#)

インストールが終了したら[続ける]

5. 管理者登録プロセス

No.	項目	値
1	ユーザ名	cafeadmin
2	新しいパスワード	Cafe9876!
3	メールアドレス	0@somedomain.com
4	都道府県	東京
5	国を選択する	日本

6. フロントページ設定

No.	項目	値
1	長いサイト名	e-learning Labo
2	サイト省略名	eLLabo

メモ

もう一度インストールを行いたい時には、config.php を削除(名前変更)し、moodle ディレクトリーにアクセスすればよい。

メモ:SSL について

SSL(HTTP)のみでサイトにアクセスさせたいときには config.php を次のように変更し、Web Server を再起動する

旧: `$CFG->wwwroot = 'http://FQDN/moodle';`

新: `$CFG->wwwroot = 'https://FQDN/moodle';`

HTTP, HTTPS の両方を使いたいときには次の通り。

```
if (isset($_SERVER['HTTPS'])) {
    $CFG->wwwroot = 'https://FQDN/moodle';
} else {
    $CFG->wwwroot = 'http:// FQDN/moodle';
}
```


演習 2: ユーザ登録

内容	手動、CSV でのユーザ登録を理解する																												
標準時間	25 分																												
成果物	<table border="1"> <thead> <tr> <th>姓 / 名</th> <th>メールアドレス</th> <th>都道府県</th> <th>国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉 健一</td> <td>2@somedomain.com</td> <td>東京</td> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>神奈川 光</td> <td>5@somedomain.com</td> <td>東京</td> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>山田 太郎</td> <td>1@somedomain.com</td> <td>東京</td> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>ユーザ 管理</td> <td>0@somedomain.com</td> <td>東京</td> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>東京 花子</td> <td>3@somedomain.com</td> <td>東京</td> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>埼玉 花男</td> <td>4@somedomain.com</td> <td>東京</td> <td>日本</td> </tr> </tbody> </table>	姓 / 名	メールアドレス	都道府県	国	千葉 健一	2@somedomain.com	東京	日本	神奈川 光	5@somedomain.com	東京	日本	山田 太郎	1@somedomain.com	東京	日本	ユーザ 管理	0@somedomain.com	東京	日本	東京 花子	3@somedomain.com	東京	日本	埼玉 花男	4@somedomain.com	東京	日本
姓 / 名	メールアドレス	都道府県	国																										
千葉 健一	2@somedomain.com	東京	日本																										
神奈川 光	5@somedomain.com	東京	日本																										
山田 太郎	1@somedomain.com	東京	日本																										
ユーザ 管理	0@somedomain.com	東京	日本																										
東京 花子	3@somedomain.com	東京	日本																										
埼玉 花男	4@somedomain.com	東京	日本																										

1. 前準備

サイト管理 / ▶ コース / ▶ コースを追加/編集する

コースカテゴリ「その他」の配下に2つのコースを作る。

コースを作成すると、「登録ユーザ」画面になるが、サイト管理からもう一度コースの画面へ戻りながら作成する。

(コース自体の設定については、「コースクリエイター」の範囲なので、ここではデフォルトの値とする。

ユーザが受講生になるパターン、講師になるパターンを想定している。

No.	長いコース名	コース省略名
1	新入社員研修	newemp
2	幹部社員研修	senioremp

メモ

コース省略名は、上部ナビゲーションに表示される、システムでユニークな必要がある。

2. 手動登録

手動でアカウントの登録を行う。

ユーザー一覧を表示する。

サイト管理 / ▶ ユーザ / ▶ アカウント / ▶ ユーザー一覧を表示する。

###コース管理のユーザと混同しないこと！

新しいユーザを追加する					
姓 / 名	メールアドレス	都道府県	国	最終アクセス	編集
ユーザ 管理	0@somedomain.com	東京	日本	4 秒	<input type="checkbox"/>

新しいユーザを追加する

[新しいユーザを追加する]で次のユーザを登録する。

No.	項目	値
1	ユーザ名	emp01
2	新しいパスワード	Cafe9876!
3	姓	山田
4	名	太郎
5	メールアドレス	1@somedomain.com
6	都道府県	東京
7	国を選択する	日本

値を入力し画面下部の[ユーザを作成する]

メモ

国, 都道府県はデフォルト値を設定可能

Home / ▶ サイト管理 / ▶ ロケーション / ▶ ロケーション設定

3.コースへのアサイン

ユーザ emp01(山田太郎)を新入社員研修には教師, 幹部社員研修に学生として登録する。

上のナビゲーションブロック Home の画面よりコースを選択し

[設定][コース管理][ユーザ][登録ユーザ][ユーザを登録する]ボタン

[ロールを割り当てる]で、[教師][学生]を選択して、[ユーザ登録を終了する]

emp01 でログインしそれぞれのコースのアイコン、および左メニューの[設定]を確認する。
学生となっているコースでは、コースの編集はできない。

4.csv 一括登録

NewUsers.csv を確認する。ここでは4ユーザの追加と1ユーザの変更を行う。

username	password	lastname	firstname	email	course1	course2	type1	type2
emo02	Cafe9876!	千葉	健一	2@somedomain.com	newemp		1	
emo03	Cafe9876!	東京	花子	3@somedomain.com	newemp	senioremp	2	1
emo04	Cafe9876!	埼玉	花男	4@somedomain.com				
emo05	Cafe9877!	神奈川	光	5@somedomain.com				
emp01	Cafe9876!	埼玉	健一	1111@somedomain.com				

フィールド名は固定、course1, course2 はコースの省略名
type に対応するコースに対して 1=student, 2=teacher

管理者でログインしなおす。

サイト管理 / ▶ ユーザ / ▶ アカウント / ▶ ユーザをアップロードする

NewUsers.csv をドラッグアンドドロップする。

[ユーザをアップロードする]ボタン

アップロードタイプを[新しいユーザの追加及び既存のユーザを更新する]に変更する。

既存のユーザ詳細を[ファイルでオーバライドする]に変更する

6	emp01	Cafe9876!	埼玉	健一	1111@somedomain.com
設定					
アップロードタイプ	新しいユーザの追加および既存のユーザを更新する ▼				
新しいユーザパスワード	必要に応じてパスワードを作成する ▼				
既存のユーザ詳細	ファイルでオーバライドする ▼				

画面下部の[ユーザをアップロードする]ボタン

[アップロードユーザ結果]を確認して[続ける]ボタン

サイト管理 / ▶ ユーザ / ▶ アカウント / ▶ ユーザー一覧を表示する

で正しくインポートできたかどうかを確認しておこう。




メモ

Excel で作成し、csv 保存すると作業が楽。

group1, group2 を使ってコース内のグループにマッピングすることが可能。

受講期間は設定できない。

演習 3:コース作成

内容 標準時間 成果物	カテゴリで階層化したコースの作成																																		
	15分																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コースカテゴリ</th> <th>コース</th> <th>編集</th> <th>カテゴリを移動する:</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>⚙️ × 👁️ 🏠 ↓</td> <td>トップ ▾</td> </tr> <tr> <td>全社教育</td> <td>1</td> <td>⚙️ × 👁️ 🏠 ↑ ↓</td> <td>トップ ▾</td> </tr> <tr> <td>新人</td> <td>0</td> <td>⚙️ × 👁️ 🏠 ↑</td> <td>トップ ▾</td> </tr> <tr> <td>2013年度</td> <td>2</td> <td>⚙️ × 👁️ 🏠</td> <td>新人 ▾</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名/姓 ^ / メールアドレス</th> <th>最終アクセス</th> <th>ロール</th> <th>グループ</th> <th>登録方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 埼玉 花男 4@somedomain.com</td> <td>なし</td> <td>学生</td> <td>+</td> <td>コース同期 (2013年新人・学生) 登録日時 2013年 01月 14日 (月曜日) 09:28</td> </tr> <tr> <td> 神奈川 光 5@somedomain.com</td> <td>なし</td> <td>学生</td> <td>+</td> <td>コース同期 (2013年新人・学生) 登録日時 2013年 01月 14日 (月曜日) 09:28</td> </tr> </tbody> </table>	コースカテゴリ	コース	編集	カテゴリを移動する:	その他	0	⚙️ × 👁️ 🏠 ↓	トップ ▾	全社教育	1	⚙️ × 👁️ 🏠 ↑ ↓	トップ ▾	新人	0	⚙️ × 👁️ 🏠 ↑	トップ ▾	2013年度	2	⚙️ × 👁️ 🏠	新人 ▾	名/姓 ^ / メールアドレス	最終アクセス	ロール	グループ	登録方法	 埼玉 花男 4@somedomain.com	なし	学生	+	コース同期 (2013年新人・学生) 登録日時 2013年 01月 14日 (月曜日) 09:28	 神奈川 光 5@somedomain.com	なし	学生	+
コースカテゴリ	コース	編集	カテゴリを移動する:																																
その他	0	⚙️ × 👁️ 🏠 ↓	トップ ▾																																
全社教育	1	⚙️ × 👁️ 🏠 ↑ ↓	トップ ▾																																
新人	0	⚙️ × 👁️ 🏠 ↑	トップ ▾																																
2013年度	2	⚙️ × 👁️ 🏠	新人 ▾																																
名/姓 ^ / メールアドレス	最終アクセス	ロール	グループ	登録方法																															
 埼玉 花男 4@somedomain.com	なし	学生	+	コース同期 (2013年新人・学生) 登録日時 2013年 01月 14日 (月曜日) 09:28																															
 神奈川 光 5@somedomain.com	なし	学生	+	コース同期 (2013年新人・学生) 登録日時 2013年 01月 14日 (月曜日) 09:28																															

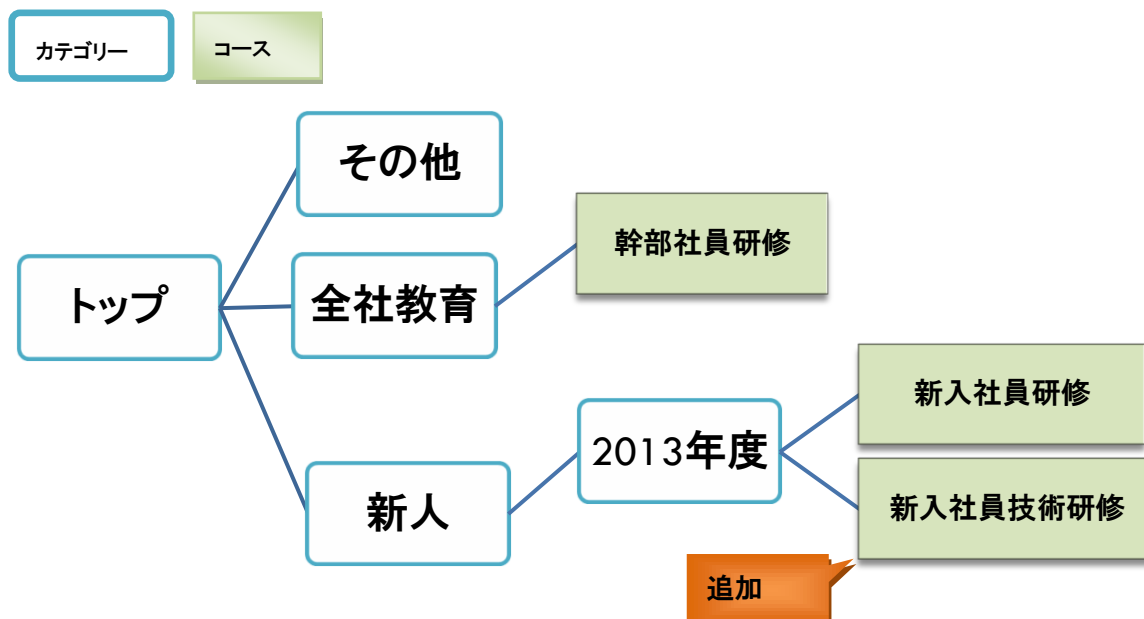
1. 階層付きコースの作成

次の階層を作ってみよう。

サイト管理 / ▶ コース / ▶ コースを追加/編集する

手順は、次の方法が楽である。カテゴリ作成、コース移動、コース作成

[新入社員技術研修]コースを新規で作成する、コース省略名は、C0003 とする。



コースカテゴリ	コース	編集	カテゴリを移動する:
その他	0	✖ Ⓞ Ⓢ ↓	トップ
全社教育	1	✖ Ⓞ Ⓢ ↑ ↓	トップ
新人	0	✖ Ⓞ Ⓢ ↑	トップ
2013年度	2	✖ Ⓞ Ⓢ	新人

2. コーホート

コーホート:2013 年新人を作る

サイト管理 / ▶ ユーザ / ▶ アカウント / ▶ コーホート より[追加]で名称を[2013 年新人]として[変更を保存する]

ここで、ユーザを追加できるが、今回はコーホートとコースのマッピングを先にやり、その後でユーザを追加する。


コーホートをコース「新入社員研修」「新入社員技術研修」にマッピングする

それぞれのコースのコース管理 / ▶ 登録ユーザの[コーホートを登録する]で、[2013 年新人]を[学生]を[コーホートを登録する]

この時点ではユーザは登録されていないが、[登録方法]リストボックスで[2013 年新人]とのマッピングが確認できる。

サイト管理 / ▶ ユーザ / ▶ アカウント / ▶ コーホート

[2013 年新人]の[編集]のユーザボタンでコーホートにユーザ 埼玉花男, 神奈川光 を入れる。

名称	コースID	説明	コース数	ソース	編集
2013年新人			0	手動作成	

それぞれのコースにこれらのユーザが登録されていることを確認する。

コースより [設定](#) / ▶ [ユーザ](#) / ▶ [登録ユーザ](#)

演習 4: アドインの導入

内容

テーマ bootstrap、コースフォーマット collapsedformat のインストールを通じてアドインを理解する。

標準時間

10 分

成果物



zip は解凍済みである。ディレクトリー bootstrap を /mymoodle/theme に、
topcoll を /mymoodle/course/format/ にコピーする。
/mymoodle は C:\mywww\webroot\mymoodle である。

サイト管理 / ▶ 通知

2つのアドインが[インストール予定]となっているのを確認して[Moodle データベースを更新する]ボタン

インストールが成功したことを確認して[続ける]

新しい設定 – Bootstrap では何も設定を変更せずに[変更を保存する]

新しいテーマを反映させる

サイト管理 / ▶ アピアランス / ▶ テーマ / ▶ テーマセクタ

Default の[テーマを変更する]ボタン、Bootstrap の[テーマを使用する]

コースフォーマットを使ってみる

コース[新入社員研修]を選んで、

設定 / ▶ コース管理 / ▶ 設定を編集する

フォーマットを[Collapsed Topics]として、[変更を保存する]

セクションごとに折りたたみができるフォーマットになっていることを確認する。

適当にいくつかの活動を入れてみるとわかりやすい。

アドインの削除(オプション)

コースフォーマットを削除する。

サイト管理 / ▶ プラグイン / ▶ プラグイン概要で[Collapsed Topics]を[アンインストール]する。

確認では[続ける]

成功のメッセージが出たら[続ける]

サイト管理 / ▶ 通知

を見ると削除した[Collapsed Topics]がインストール予定になっている。該当ディレクトリー(C:\¥mywww¥webroot ¥mymoodle¥course¥format¥topcoll)を削除してブラウザを更新すると、このメッセージは出なくなる。

IIS ではサイトを停止するだけでなく、サービス自体を停止しないとファイルは削除できない。

システムのシャットダウン

Ctrl+Alt+End から右下の電源ボタンで[シャットダウン]します。



理由を聞かれるがそのまま[続行]

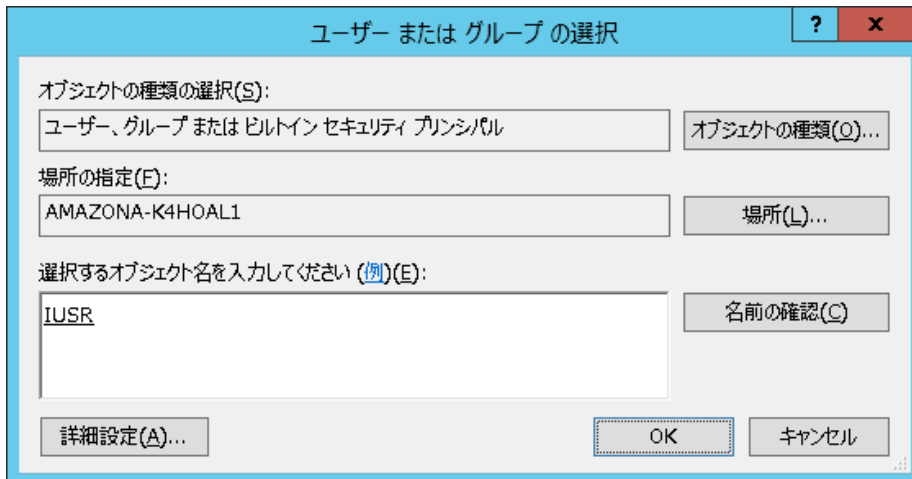
付録 1:mymoodle ディレクトリーのアクセス権

mymoodle データディレクトリーで右クリックし [プロパティ]

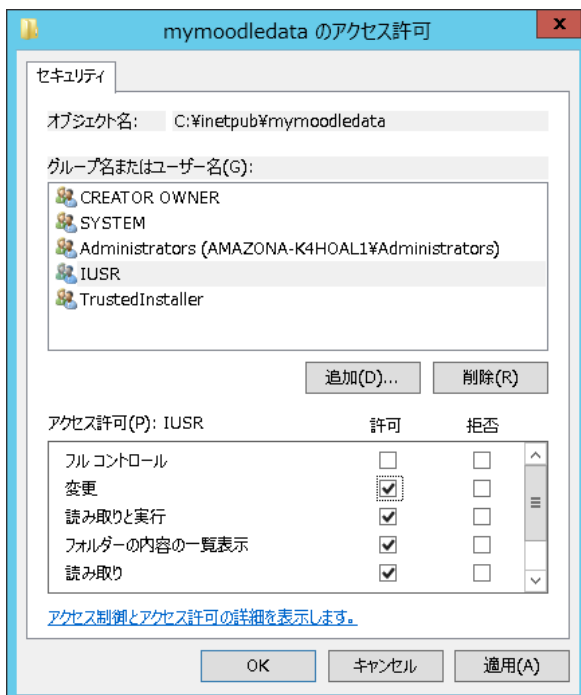
[mymoodledata のプロパティ]ダイアログより[セキュリティ]タブ[編集]ボタン

[mymoodledata のアクセス許可]ダイアログより[追加] ボタン

[ユーザまたはグループの選択]ダイアログで、左下に IUSR を入力し、[名前の確認]ボタン



IUSR にアンダーラインが引かれるのを確認して[OK] ボタン



[mymoodledata のアクセス許可]ダイアログで IUSR に[変更]のアクセス許可を許可し、[OK]で閉じる

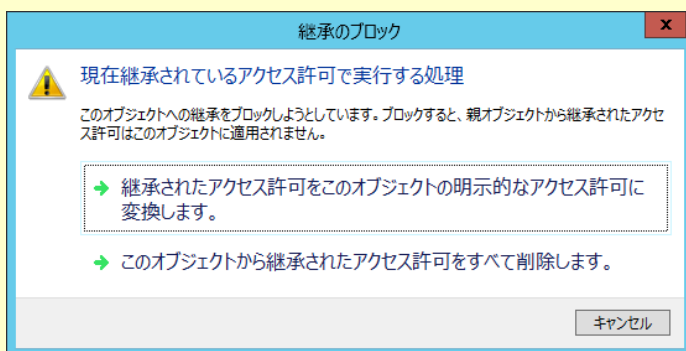
[mymoodledata のプロパティ]ダイアログを[OK]で閉じる

メモ

実際にはセキュリティを考慮して Users のアクセス権を削除しておいたほうがよい。

[セキュリティ]タブ[詳細設定][継承の無効化]ボタン

[継承のブロック]で上を選択する



Users を[削除]し[OK]で mymoodledata の[セキュリティ詳細設定]を閉じる。

Moodle™ is a registered trademark of the Moodle Trust.

Linux®Linux is a registered trademark of Linus Torvalds.

Microsoft®, Windows®, Windows Server® and Windows Vista® are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple®, Macintosh®, Mac OS®, Safari®, and ColorSync® are either registered trademarks or trademarks of Apple Computer, Inc. in the United States and/or other countries.

Adobe®, PostScript® and Acrobat® are registered trademarks of Adobe Systems, Incorporated.



本テキストは、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスにより、以下の通りライセンスされています。

表示

本テキストは、株式会社イーラーニングに著作権が帰属するものであることを表示してください。

改変禁止

本テキストは、改変せず使用してください。本テキストに対する改変は、株式会社イーラーニングまたは株式会社イーラーニングが認める団体により行われています。

非営利

本テキストは、営利目的(※)以外でテキストとして自由に利用することができます。

テキストとして営利目的での利用は、株式会社イーラーニングによる許諾が必要です。本テキストを利用した教育において、本テキスト自体の対価を請求しない場合は、営利目的の教育であっても基本的に使用できます。

その場合も含め、株式会社イーラーニングまでお気軽にお問い合わせください。

※営利目的の利用とは以下のとおり規定しております。

営利企業において、当テキストの複製を用いた研修や講義を行うこと、または非営利団体において有料セミナー等に利用すること

Moodle 管理者基礎:演習

Ver. 1.0.0

2013年1月

株式会社イーラーニング

<http://www.e-learning.co.jp>

info@e-learning.co.jp